

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第7週の発生動向

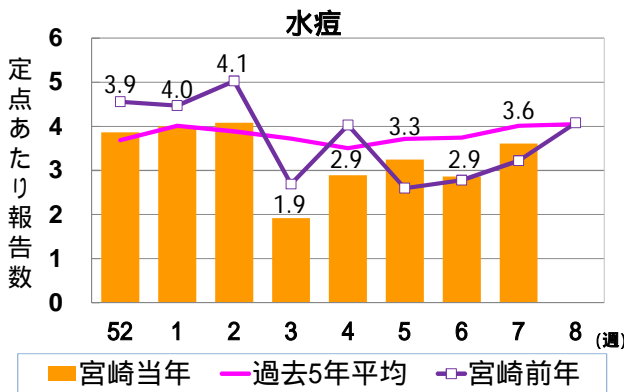
定点医療機関からの報告総数は1,882人(定点あたり44.0)で、前週比74%と減少した。

前週に比べ増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

### 【水痘】

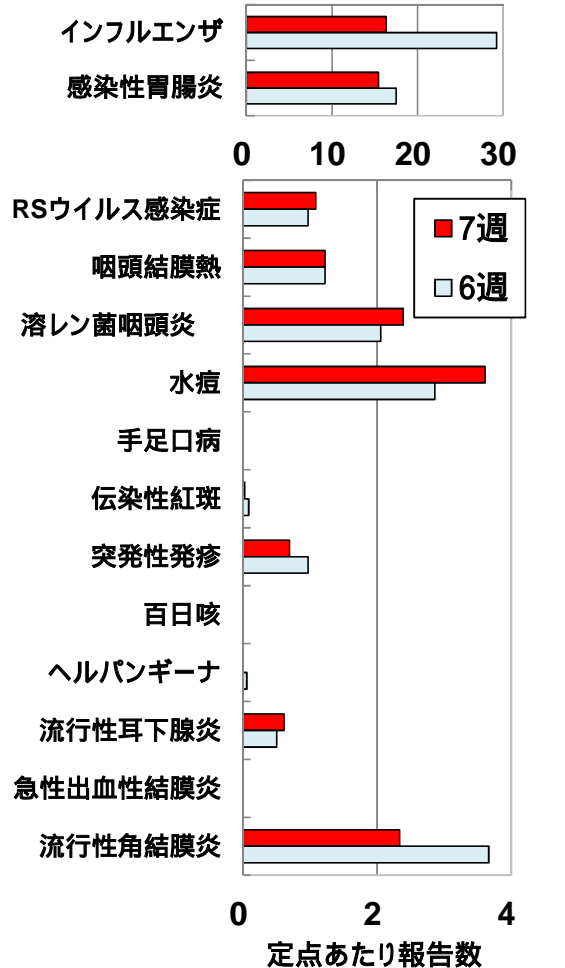
・報告数は130人(3.6)で前週比126%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(4.0)の約9割である。日南(10.7)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約8割を占めた。



### 【インフルエンザ】

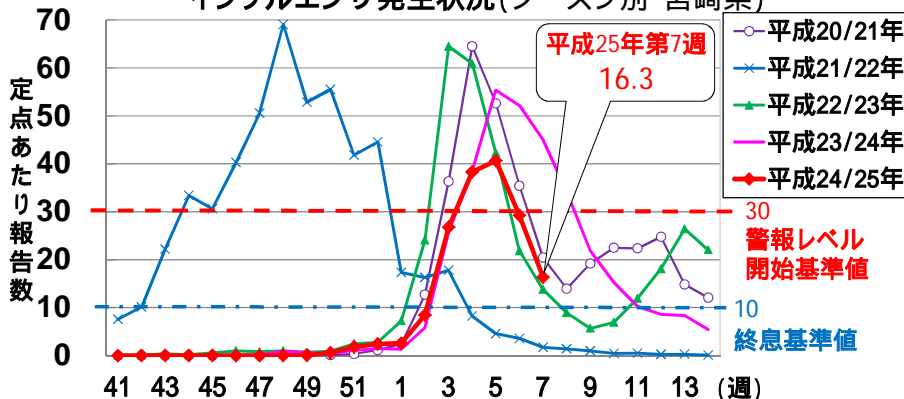
・報告数は963人(16.3)で前週比56%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値(22.5)の約7割である。小林(28.6)、都城(23.8)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の35%、6~9歳が17%、10~14歳が16%、15~19歳が5%、20歳代から50歳代が22%、60歳以上が5%を占めた。

## 〈前週との比較〉



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## インフルエンザ発生状況(シーズン別・宮崎県)



基幹定点からの報告

マイコプラズマ肺炎：延岡・日南（各1人）保健所から報告された。患者はどちらも7歳であった。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	感染性胃腸炎(20.5)
日南	感染性胃腸炎(24.0)、水痘(10.7)
小林	感染性胃腸炎(23.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

\* 流行警報レベル開始基準値 \*  
 ・感染性胃腸炎(20.0)  
 ・水痘(7.0)

全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 4 例。
- 3 類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症 3 例。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： 報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状 等
2類	結核	宮崎市	60 歳代	疑似症患者	咳、痰
			70 歳代	肺結核	咳、痰
			80 歳代	肺結核	咳
		延岡	80 歳代	その他の結核（左肋膜炎）	咳、痰
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	1 歳	患者	腹痛、水様性下痢 原因菌：O111(VT1,2産生)
			2 歳	患者	腹痛、水様性下痢、嘔吐 原因菌：O111(VT産生)
		中央	1 歳	患者	水様性下痢、血便 原因菌：O111(VT1,2産生)

病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 25 年 2 月 17 日までに検出）

ノロウイルス検出情報

検出なし。（検査依頼なし）

## 全国第6週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は40.5で、前週比82%と減少した。今週増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

水痘の報告数は4,066人(1.3)で、前週比132%と増加した。沖縄県(3.2)、鹿児島県(3.1)、宮崎県(2.9)からの報告が多く、年齢別では1歳から5歳が全体の約8割を占めた。

インフルエンザの報告数は131,544人(26.7)で、前週比75%と減少した。愛知県(42.5)、鹿児島県(40.7)、新潟県(39.6)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が28%、6~9歳が20%、10~14歳が16%、15~19歳が5%、20歳代から50歳代が24%、60歳以上が7%を占めた。

### 全数把握対象疾患(全国第6週)

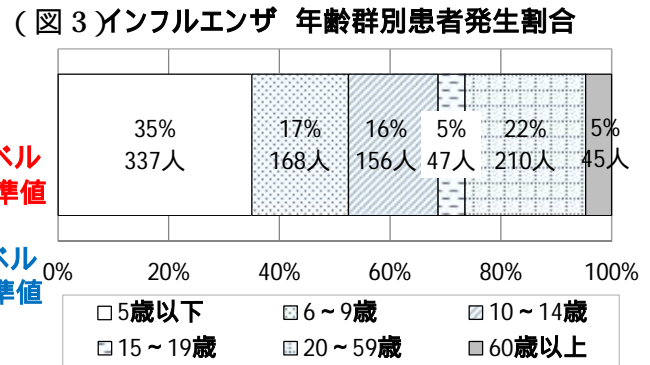
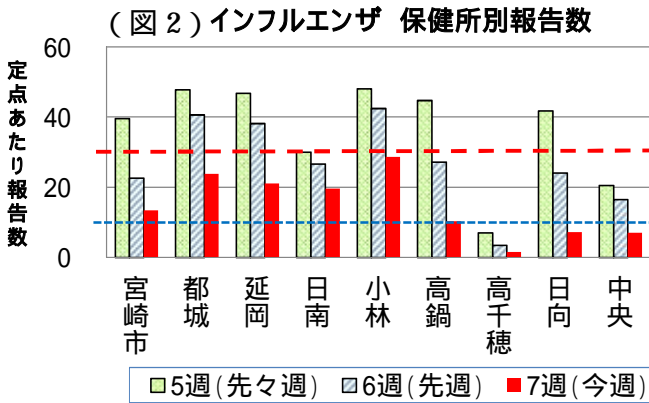
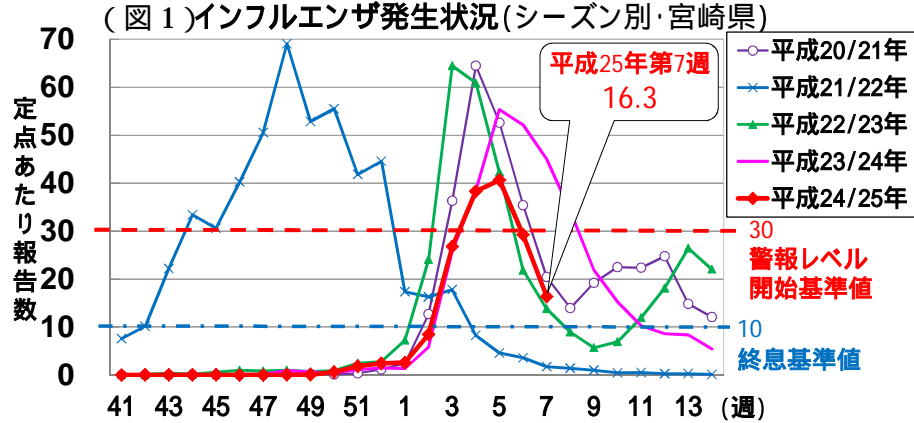
1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	315例				
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	13例		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	3例	つつが虫病	3例
	マラリア	1例	レジオネラ症	14例		
5類感染症	アメーバ赤痢	11例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	8例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例	後天性免疫不全症候群	5例	ジアルジア症	2例
	梅毒	10例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	4例	風しん	138例
	麻しん	7例				

\*風しん：東京都(60例)からの報告が多い。

# インフルエンザ情報《県内第7週、全国第6週（再掲）》

## 県内7週インフルエンザ発生動向

平成25年2月11日～2月17日までの1週間で963人（定点あたり16.3）の報告があり、前週の約6割に減少した（図1）。例年同時期の定点あたり平均値（22.5）の約7割である。保健所別報告数を（図2）、年齢群別患者発生割合を（図3）に示す。



## インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

■:警報レベル、□:注意報レベル、-:警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (7週)		1週前 (6週)		2週前 (5週)		3週前 (4週)		4週前 (3週)		5週前 (2週)	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎県全体	16.3		29.3		40.7		38.3		26.8		8.5	-
宮崎市	13.4		22.6		39.5		39.1		30.8		8.8	-
都城	23.8		40.6		47.7		40.8		24.5		7.0	-
延岡	21.0		38.1		46.7		44.4		34.7		13.6	
日南	19.6		26.6		30.0		22.2		16.0		9.8	-
小林	28.6		42.4		48.0		49.0		35.6		6.0	-
高鍋	10.3		27.2		44.7		46.2		20.8		7.7	-
高千穂	1.5	-	3.5	-	7.0	-	6.5	-	4.5	-	0.0	-
日向	7.2	-	24.0		41.7		36.2		23.7		7.7	-
中央	7.0	-	16.5		20.5		26.5		32.0		11.5	

宮崎県全体:警報レベル終息基準値(10)を下回るまで警報レベル継続

保健所別:当該週の定点あたり報告数のみにより注意報・警報レベルを表示

## 全国第6週インフルエンザ発生動向

平成25年2月4日～2月10日までの1週間で131,544人(26.7)の報告があり、前週比75%と減少した。愛知県(42.5)、鹿児島県(40.7)、新潟県(39.6)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が28%、6～9歳が20%、10～14歳が16%、15～19歳が5%、20歳代から50歳代が24%、60歳以上が7%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2013年 第07週(02月11日～02月17日)

疾病名		第6週	第7週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1726	963	215	238	147	98	143	62	3	43	14
	定点あたり	29.25	16.32	13.44	23.80	21.00	19.60	28.60	10.33	1.50	7.17	7.00
RSウイルス 感染症	報告数	35	39	9	7	4	6		2		10	1
	定点あたり	0.97	1.08	0.90	1.17	1.00	2.00	0.00	0.50	0.00	2.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	44	44	8	7	7	7	1	4		9	1
	定点あたり	1.22	1.22	0.80	1.17	1.75	2.33	0.33	1.00	0.00	2.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	74	86	13	9	17	16		15		14	2
	定点あたり	2.06	2.39	1.30	1.50	4.25	5.33	0.00	3.75	0.00	3.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	631	556	160	48	82	72	71	42	18	52	11
	定点あたり	17.53	15.44	16.00	8.00	20.50	24.00	23.67	10.50	18.00	13.00	11.00
水痘	報告数	103	130	35	26	7	32	8	13		9	
	定点あたり	2.86	3.61	3.50	4.33	1.75	10.67	2.67	3.25	0.00	2.25	0.00
手足口病	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	3	1	1								
	定点あたり	0.08	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	35	25	6	2	3	3	4	5		2	
	定点あたり	0.97	0.69	0.60	0.33	0.75	1.00	1.33	1.25	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	18	22	2	13	3		1	2			1
	定点あたり	0.50	0.61	0.20	2.17	0.75	0.00	0.33	0.50	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	22	14	11	1	2						
	定点あたり	3.67	2.33	3.67	0.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		2			1	1					
	定点あたり	0.00	0.29	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2013年第1週～7週)

2類感染症	結核	32例(4)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3例(3)			
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	3例	
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	急性脳炎	3例	後天性免疫不全症候群 1例
	梅毒	1例	破傷風	1例	風しん 2例

( )内は今週届出分、再掲